



2019年 春の心の健康講座

ご案内

第一回目は、おなじみの増野先生です。テーマは精神科医としての長年の歩みの総括編ともいえるもの。はたして、先輩モレノから受けた影響は何だったのだろうか、興味が尽きない。

第二回目は、2年前『森田療法の誕生』を著した畑野文夫氏で、若き日に入院森田療法を受けた当事者でもある。本書は大手出版社役員を定年退職後10年という歳月をかけて森田正馬の35年分の日記を読み解き、森田の青春時代をも詳細に調べ上げた内容で、460ページにも及び労作と言える。

どなたでも参加できますので、またとないこの機会に、青春を謳歌された「新しい正馬像」に会いに来ませんか。

■第一回 3月9日(土) 13:30~15:30 質疑応答を含む



テーマ；「森田、モレノ、増野」

講師 増野 肇 (ましの・はじめ ルーテル学院大学名誉教授)

千葉大学文理学部英米文学科卒、東京慈恵会医科大学卒。栃木県精神衛生センター所長、宇都宮大学、日本女子大学などの大学教授、日本心理学会理事長をつとめた。著書多数。

※精神科医ヤコブ・レヴィ・モレノ (Jacob Levy Moreno, 1889~1974) は、サイコドラマ (心理劇) などの提唱者。

■第二回 4月20日(土) 13:30~15:30 質疑応答を含む



テーマ；「対人恐怖症から『森田療法の誕生』を書くまで」

講師 畑野 文夫 (はたの・ふみお 元・講談社インターナショナル社長)

早稲田大学第一文学部仏文科を卒業し講談社に入社。編集に携わる。講談社常務取締役、講談社インターナショナル社長をつとめた。現在、鈴木知準診療所の入院森田療法体験者でつくる勉強会「正知会」会長。2017年の森田療法学会(熊本)から依頼を受け、市民公開講座で、「五高時代の森田正馬と森田療法」と題し講演した。『森田療法の誕生』は三恵社発行。

■会場 社会福祉法人かがやき会 就労センター「街」(まち) 3階 ※1階がスワンベーカーリー&喫茶カフェタウン
〒161-0032 東京都新宿区中落合1-6-21 (高良興生院跡地。下記の案内図を参考にしてください)

【最寄駅】西武新宿線「下落合」または「中井」駅、大江戸線「中井」駅から各8分(妙正寺川の川沿い)

■定員 各回50名【申込み不要】 ■参加費 各回1,000円(ただし、保存会会員は無料、随時入会受付)

■問合せ 事務局(就労センター「街」2階。但し、火、水、金曜の10時~17時。担当；足立)

☎03-3952-9975 Eメール；info@hozonkai.net

ホームページ；http://www.hozonkai.net/「高良保存会」で検索

◎主催；高良興生院・森田療法関連資料保存会

◎後援；公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団

・森田療法とは？

森田療法とは、西暦1920年頃、森田正馬(もりたしょうま 元・慈恵医大名誉教授)が生み出した、わが国が世界に誇るべき神経症の治療法である。

それは、「とらわれの機制」(神経症的葛藤)を臥褥(がじょく)・作業・日記指導・読書などを用いて段階的に打破し、「あるがままの状態」(創造的で調和のある健康状態)を体得させようとするものである。

高良武久先生は、森田正馬の第一の高弟で、50余年にわたり、この地(東京都新宿区中落合)で高良興生院(こうら・こうせいいん)を開設し、森田療法を実施されていた。

(当会パンフレット「森田療法とは」から抜粋)

